

平成31年度 活動方針及び事業計画

◆ 活動方針

今里地域は、「細い路地に木造住宅が密集している」、「高齢者人口が高い」、「中心を東西に商店街がある」等の特徴がある。さらにこの10年間に於いて「空き家」、「高齢者独居世帯」、「商店街空き店舗」が著しく増加してきた。これらの課題の10年後を見据えた「今里まちづくり構想」の策定に向け、設置した部会「今里まちづくり研究会」により活動を推進する。具体的には、住民と商店街・事業者など多様なメンバーの参画を得て、地域資源や魅力把握などの調査、研究活動を行い、すべての住民に優しく活気あるまちづくりを目指した今里ブランドのイメージ向上を図る取組を行う。

平成31年度は、まちづくり構想策定に向け、これまで取り組んできた今里地域の魅力・課題・資源の再検証・再認識を目指した活動を整理・分析し、10年先も語り継ぎたいことや、大切にしたいまちのイメージなどをとりまとめたまちづくり構想の策定を目指します。

◆ 事業計画

- ・まちづくり構想に向け、これまでの活動の総まとめを行う
- ・意見交換会（町会長まちづくり会議など）の開催
…テーマ別会議（防災、賑わい、福祉など）
- ・幅広い住民が参加できるしくみの検討と会議・集会等の実施
- ・組織内部会「今里まちづくり研究会」の定例開催
- ・住民への広報（まちづくり通信の発行等）
- ・まちの魅力、地域資源、課題等を確認する取組み（学習会・まち歩きなど）
- ・まちづくり構想の作成および周知

◆ 事業効果

今里地域の魅力や課題を見つめる活動により、今里地域への愛着を深め、課題解決に向けた取組への主体性の向上が図られる。

◆ 達成度を測る指標

まちづくり研究会において、まちづくり活動を総括的にふりかえり、活動評価シートを整理するとともに、構想実現に向けた方向性の検討を行う。

今里まちづくり活動協議会 平成31年度 収支予算

・ 収入の部 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
会費	130,000	まちづくり協議会 自主財源
助成金	130,000	
雑収入	0	
繰越金	0	
合 計	260,000	

・ 支出の部 (単位:円)

科 目	金 額	備 考
報償費	20,000	学習会講師謝礼 10,000×2回
交通費	0	
消耗品費	114,000	会議コピー代 モノクロ @10×5枚×8部×12回 カラー @50×16枚×8部×3回 構想検討集会用資料 コピー代 カラー @50×16枚×50部×2回 ワークショップ消耗品(ペン・付箋など)@5,000×2回
図書購入費	5,000	まちづくり手法等の参考図書 @2,500×2冊
印刷製本費	75,000	まちづくり通信 @25,000円×3回分
通信運搬費	0	
保険料	0	
使用料・賃借料	42,000	会議室 @3,000×12回分(研究会・役員会議:各6回) 集会会場費 @3,000×2回
原材料費	4,000	展示パネル材 @500×8枚
その他		
合 計	260,000	